

SHIBUNKAKU
思文閣

宮永理吉

- 1935年（昭和10年） 二代東山の息子として京都に生まれる。本名理吉。
- 1958年（昭和33年） 京都市立美術大学彫刻科卒業。
同大学専攻科に進む。
辻晉堂、堀内正和らに学ぶ。
土による彫刻を志向。
専攻科在学中に行動美術協会展彫刻部新人賞、奨励賞を受賞。
1962年に会員となり69年まで所属。
- 1960年（昭和35年） 専攻科中退。渡米。
メキシコからニューヨークに入り、翌年アート・スチューデント・リーグで学ぶ。
- 1964年（昭和39年） 国立近代美術館京都分館「現代美術の動向」展に出品。
この時初めて磁器を素材とした作品を発表。
- 1965年（昭和40年） 陶芸作品による最初の個展を東京ニューセンターで開催。
- 1970年（昭和45年） 走泥社同人となる。
アメリカ・スクリップス大学ギャラリー「6人の若い日本人陶芸家」展に出品。
京都国立近代美術館「現代の陶芸：ヨーロッパと日本」展に出品。
- 1979年（昭和54年） アメリカ・デンバー美術館「今日の日本陶芸」展出品。
- 1991年（平成3年） 作品集『やきもの：宮永理吉の世界』を刊行。
- 1995年（平成7年） 第13回日本陶芸展推薦作家として出品。
以後も出品。
和歌山大学教授となる。
イギリスのビクトリア・アンド・アルバート美術館での「ジャパニーズ・スタジオ・クラフツ」展に出品。
- 1998年（平成10年） 京都府文化功労章を受賞。
- 1999年（平成11年） 三代宮永東山を襲名。
京都文化博物館に於いて襲名記念「東山三代展」を開催。
- 2000年（平成12年） 東京国立近代美術館「うつわをみる」に出品。
- 2001年（平成13年） 京都、東京国立近代美術館「京都の工芸—1945-2000」に出品。
- 2004年（平成16年） 個展、ぎやらりい思文閣、ギャラリーなかむら。
- 2008年（平成20年） 3月京都市芸術功労賞を受賞。
- 2015年（平成27年） 1月ぎやらりい思文閣にて、2度目の個展を開催する。

SHIBUNKAKU

思文閣

東京国立近代美術館 京都国立近代美術館 国際交流基金 京都府立総合資料館 和歌山県立近代美術館 滋賀県立陶芸の
森陶芸館 広島県立美術館 京都市立美術館 大阪市立東洋陶磁美術館 呉市立美術館 高松市立美術館

ビクトリア&アルバート美術館（イギリス） アリアナ美術館（スイス） オロット美術館（スペイン） パリ装飾芸術美術
館（フランス）

エバーソン美術館（アメリカ） スクリップス大学（アメリカ） カンタベリー美術館（ニュージーランド） ニューキャ
ッスル美術館（オーストラリア） ニューサウスウェールズ美術館（オーストラリア）